
平成 29 年度 文化芸術振興活動費助成金募集要領

平成 28 年 12 月

公益財団法人 置県百年記念香川県文化芸術振興財団

目 次

1. 平成 29 年度 文化芸術振興活動費助成金対象活動の募集について	1
2. 文化芸術振興活動費助成金交付要綱	3
様式第 1 号：助成金交付申請書	7
様式第 2 号：活動計画書	8
様式第 3 号：収支予算書	9
様式第 4 号：助成金交付決定通知書	10
様式第 5 号：変更活動承認申請書	11
様式第 6 号：変更活動計画書	12
様式第 7 号：変更収支予算書	13
様式第 8 号：活動中止・交付辞退届出書	14
様式第 9－1 号：活動実績報告書	15
様式第 9－2 号：活動実績報告書(別紙)	16
様式第 10－1 号：収支決算書	17
様式第 10－2 号：領収書内訳表	18
様式第 11 号：助成金交付額確定通知書	19
様式第 12 号：助成金請求書	20
様式第 13 号：助成金概算払請求書	21
3. 様式第 3 号：収支予算書の記載例	22

平成 29 年度 公益財団法人 置県百年記念香川県文化芸術振興財団 文化芸術振興活動費助成金対象活動の募集について

公益財団法人 置県百年記念香川県文化芸術振興財団は、文化芸術の創造的な活動を支援し、それらの活動を支える人材の育成を図るため、文化芸術振興活動費助成金を交付しています。

平成 29 年度の助成対象活動について、本助成金募集要領及び助成金交付要綱（平成 28 年 12 月 15 日施行）に基づき、募集を行います。

1. 助成金交付要綱について

3 ページからの助成金交付要綱の内容及び各様式（記載例を含む）を十分ご確認の上、ご応募ください。

2. 募集期間

（第 1 次締切）平成 29 年 1 月 31 日（火）必着

（第 2 次締切）平成 29 年 7 月 7 日（金）必着

3. 応募先について

〒760-8570 高松市番町 4-1-10（香川県文化振興課内）

公益財団法人 置県百年記念香川県文化芸術振興財団

※申請書等の様式は、財団のホームページからダウンロードできます。

URL : <http://kagawa-arts.or.jp/>

4. 審査について

外部有識者を含めた助成金審査委員会委員によるヒアリング審査を経て採択事業を決定します。なお、応募多数の場合は、書面審査により、ヒアリング審査に進む事業をあらかじめ選定させていただきます。

<審査の視点>

○香川県の活性化に寄与するものであるか。

○香川県の文化芸術の水準の向上に貢献するものであるか。

○県内外に、香川県の文化芸術の情報発信に貢献するものであるか。

5. 助成金決定までのスケジュール（詳細は 2 ページ参照）

○第 1 次締切：平成 29 年 1 月 31 日（火）必着

↓

ヒアリング審査：平成 29 年 2 月 25 日（土）及び 2 月 26 日（日）

○第 2 次締切：平成 29 年 7 月 7 日（金）必着

↓

ヒアリング審査：平成 29 年 8 月上旬の予定

※ヒアリング審査は、審査委員会委員が申請内容について直接お伺いするもので、審査上とても重要です。時間及び場所等は、別途連絡させていただきます。

↓

交付決定

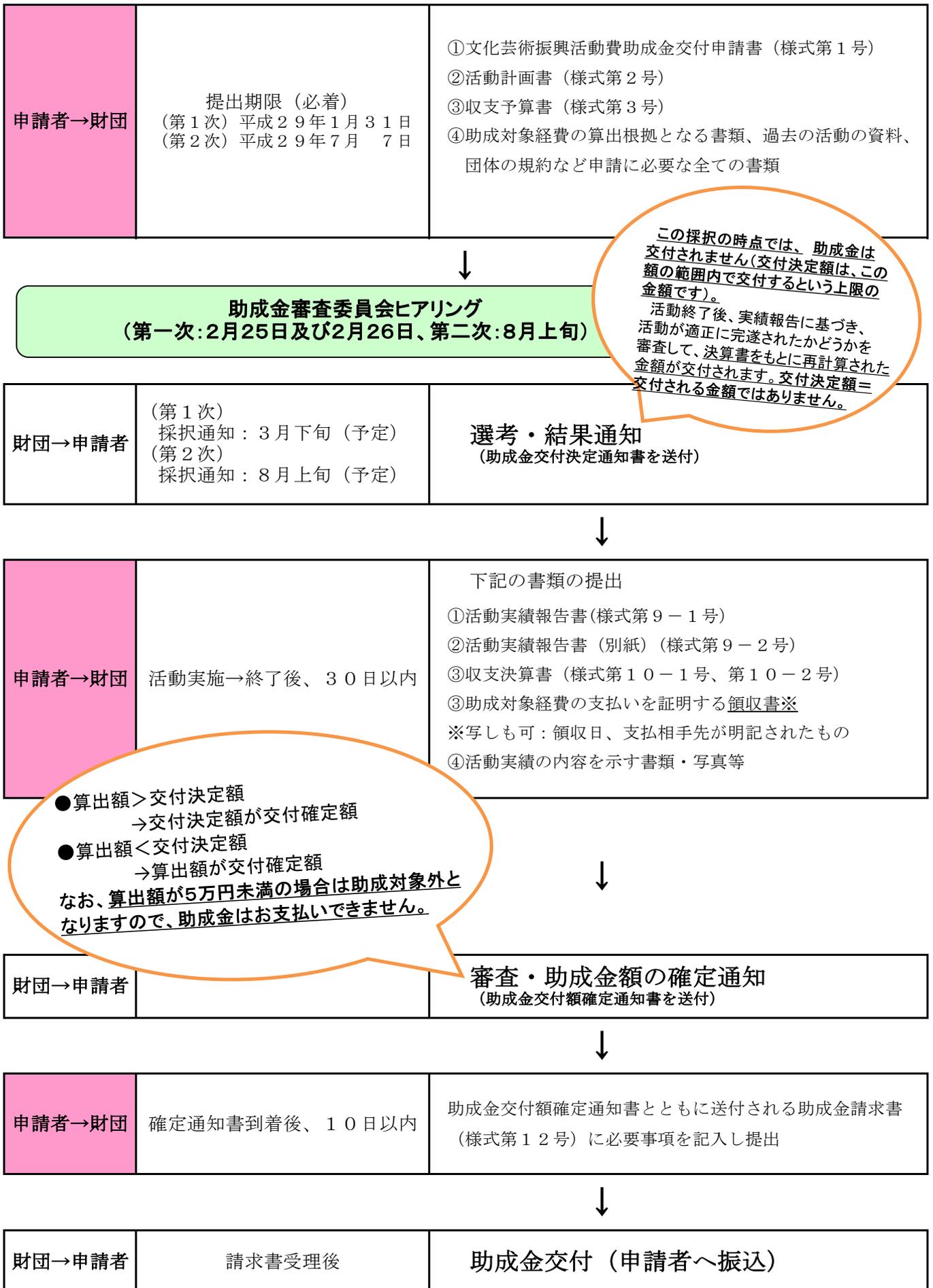
6. 問合せ先 公益財団法人 置県百年記念香川県文化芸術振興財団

TEL : 087-832-3782 FAX : 087-806-0238

E-mail : chiken@kagawa-arts.or.jp URL : <http://kagawa-arts.or.jp/>

平成 29 年度予算の決議前の募集となることから、予算編成の状況等により、内容の変更や規模の縮小等が生じる場合があるので、予めご了承のうえ、応募してください。

助成金申請から交付までの流れ（平成29年度版）



この採択の時点では、助成金は交付されません（交付決定額は、この額の範囲内で交付するという上限の金額です）。
 活動終了後、実績報告に基づき、活動が適正に完遂されたかどうかを審査して、決算書をもとに再計算された金額が交付されます。交付決定額＝交付される金額ではありません。

●算出額＞交付決定額
 →交付決定額が交付確定額
 ●算出額＜交付決定額
 →算出額が交付確定額
 なお、算出額が5万円未満の場合は助成対象外となりますので、助成金はお支払いできません。

公益財団法人 置県百年記念香川県文化芸術振興財団

文化芸術振興活動費助成金交付要綱

(趣旨)

第1条 公益財団法人置県百年記念香川県文化芸術振興財団(以下「財団」という。)は、文化芸術の創造的な活動を支援し、それらの活動を支える人材の育成を図るため、予算の範囲内において文化芸術振興活動費助成金(以下「助成金」という。)を交付するものとし、その交付に関しては、この要綱に定めるところによる。

(助成金交付団体等)

第2条 財団は、次の各号に掲げる要件を満たす団体(国、地方公共団体を除く。以下同じ。)又は個人に助成金を交付することができるものとする。

- (1) 香川県内に住所又は活動の本拠を有すること。
- (2) 団体にあつては、一定の規約を有し、かつ、代表者及び所在地が明らかであること。
- (3) 明確な会計経理を実施していること、又は実施できると認められること。
- (4) 活動が完遂できると認められること。

2 財団は、前項の規定にかかわらず、次の団体又は個人に助成金を交付しない。

- (1) 国又は地方公共団体が1/2以上の出資等を行っている団体
- (2) 政治、宗教、営利を目的とする個人及び団体並びに活動目的が当助成金を交付することが適当でないと代表理事が判断した個人及び団体

(助成対象活動)

第3条 助成金の交付の対象となる活動(以下「助成対象活動」という。)は、文化芸術の振興による心豊かで活力あふれる香川づくり条例(平成19年12月21日条例第68号)第2条に定める文化芸術の分野において、文化芸術の創造的な活動を支援し、それらの活動を支える人材の育成を図るための活動で、次に掲げるものとする。

助成対象活動区分		細区分		活動内容
1	文化芸術活動	(1) 育成支援	市町の区域を越えて広域から県民が参加する文化芸術活動の成果発表のための演奏会、展覧会等が対象	活動開始(結成後)5年以下の団体が実施する活動で、原則として入場料を徴収して実施するもの
		(2) 発展支援		活動開始(結成後)5年を超える団体が実施する活動で、内容・規模において特筆すべき活動であるもの又は他分野との共演等新たな分野に活動を広げるもので、原則として入場料を徴収して実施するもの
		(3) 国際交流支援		舞台芸術の公演及び美術展覧会等を通じ海外との文化芸術の交流を図ろうとするものであって外国の政府との間の正式な取り決めに基づいて行われる活動又はこれに準じるもの
2	若手芸術家活動			若手芸術家(40歳未満)が文化施設又は商店街等のオープンスペース等で行う展覧会、演奏会等の文化芸術活動
3	地域活性化活動			文化芸術を活用し、地域を活性化させるために、商店街、公園、街並、空き店舗等のパブリックスペース等で行う活動で、原則として入場料を徴収せずに実施するもの

2 前項の規定にかかわらず、次の各号に掲げる活動は、助成対象としない。

- (1) 政治、宗教、営利を目的とする活動及び活動目的が当助成金を交付することが適当でないと代表理事が判断した活動
- (2) 活動の実施に必要な経費のうち財団の助成金を除く額を調達できる見込みがない活動
- (3) 前年度に助成金を交付した活動
- (4) 県の助成金等の交付を受けて実施する活動
- (5) 国又は市町から1/2以上の助成を受けて実施する活動

(助成金の額)

第4条 助成金の交付の対象となる経費（以下「助成対象経費」という。）は、別表に定めるとおりとする。

2 助成金の額は、次に掲げるとおりとする。

助成対象活動区分		助成金の額		特 例
1	文化芸術活動	助成対象経費の1/3以内で	5万円以上 100万円以下	香川県文化会館を会場として 使用した場合は1/2以内
2	若手芸術家活動	助成対象経費の1/2以内で		
3	地域活性化活動	助成対象経費の1/2以内で		

(助成金の申請)

第5条 助成金の交付を受けようとする者は、助成金交付申請書（様式第1号）に次に掲げる書類を添えて、別に定める日までに代表理事に提出しなければならない。

- (1) 活動計画書（様式第2号）
- (2) 収支予算書（様式第3号）
- (3) その他代表理事が必要と認める書類

(助成金の審査・交付の決定及び通知)

第6条 代表理事は、前条の申請書を受け取ったときは、これを審査し、適当であると認めたときは、助成金の交付の決定をするものとする。この場合において、代表理事は、必要と認めるときは、条件を付することができる。

2 代表理事は、前項の審査に当たっては、助成金審査委員会を設置し、審査は同委員会が行うものとする。

3 代表理事は、助成金の交付の決定をしたときは、速やかに助成金交付決定通知書（様式第4号）により助成金の交付の申請をした者に対しその旨を通知するものとする。

(助成の表示)

第7条 助成金による活動を実施する者（以下「助成活動者」という。）は、活動実施会場及び実施に際して作成するポスター、チラシ、プログラム等に、財団が助成している旨を表示するものとする。

(変更等の承認)

第8条 助成活動者は、助成対象活動の実施について重要な変更をしようとするときは、あらかじめ変更活動承認申請書（様式第5号）に次に掲げる書類を添えて代表理事に提出し、その承認を受けなければならない。

- (1) 変更活動計画書（様式第6号）
- (2) 変更収支予算書（様式第7号）

2 助成活動者は、交付決定後に助成対象活動を中止する場合、または活動実施前後で助成金交付を辞退する場合においては、あらかじめ活動中止・交付辞退届出書（様式第8号）を代表理事に提出しなければならない。

(実績報告)

第9条 助成活動者は、助成対象活動の完了した日から起算して30日以内に、活動実績報告書（様式第9-1号）に次に掲げる書類を添えて、代表理事に提出しなければならない。

- (1) 活動実績報告書(別紙)（様式9-2号）
- (2) 収支決算書（様式第10-1号及び様式第10-2号）
- (3) その他代表理事が必要と認める書類

(助成金の額の確定)

第10条 代表理事は、前条に規定する報告書を受け取ったときは、これを審査し、適当であると認めたときは、交付すべき助成金の額を確定し、速やかに助成金交付額確定通知書（様式第11号）により助成活動者に対しその旨を通知するものとする。

(助成金の請求)

第11条 助成活動者は、前条に規定する通知を受けたときは、その日から起算して10日以内に助成金請求書（様式第12号）を代表理事に提出するものとする。

(助成金の交付)

第 12 条 代表理事は、前条に規定する請求書を受け取ったときは、助成活動者に対し助成金を交付するものとする。

(概算払)

第 13 条 代表理事は、前三条の規定にかかわらず、助成対象活動の実施上必要と認めるときは、助成金の一部又は全部を概算払することができる。

2 助成活動者は、概算払の交付を受けようとするときは、代表理事に協議のうえ助成金概算払請求書(様式第 13 号)を代表理事に提出しなければならない。

(報告・調査)

第 14 条 代表理事は、助成対象活動の実施に関して、必要に応じ報告を求め、調査を行うことができる。

(決定の取消等)

第 15 条 代表理事は、助成活動者が次の各号の一に該当すると認めるときは、助成金の交付の決定の一部若しくは全部を取り消し、又はその決定の内容若しくはこれに付した条件を変更することができる。

- (1) この要綱に違反したとき。
- (2) 助成金の交付の決定の内容又はこれに付した条件に違反したとき。
- (3) 不正の手段により助成金の交付の決定を受け、又は助成金の交付を受けたとき。
- (4) 助成金を助成対象活動以外の用途に使用したとき。
- (5) 助成対象活動を実施せず、実施しようとする意思が認められないとき。
- (6) 助成対象活動を完了する見込みがなくなったとき。
- (7) その他助成対象活動の実施において著しく社会的妥当性を欠く行為があったと認められるとき。

(助成金の返還)

第 16 条 代表理事は、助成金の交付の決定を取り消した場合において、助成対象活動の当該取消に係る部分に関し、既に助成金が交付されているときは、期限を定めてその返還を命じることができる。

2 代表理事は、助成対象活動を中止することとなった場合において、既に助成金が交付されているときは、期限を定めてその返還を命じることができる。

3 代表理事は、助成活動者に交付すべき助成金の額を確定した場合において、既にその額を超える助成金が交付されているときは、期限を定めてその返還を命じることができる。

(関係書類の保管)

第 17 条 助成活動者は、助成対象活動に係る収入支出の帳簿及び証拠書類を整備し、助成活動終了の年度の翌年度から起算して 5 年間保管しなければならない。

(その他)

第 18 条 この規定の施行に関し、必要な事項は、代表理事が別に定める。

附 則

- 1 この要綱は、平成 24 年 3 月 1 日から施行する。
- 2 公益財団法人置県百年記念香川県文化芸術振興財団 地域文化芸術振興事業費助成金交付要綱(平成 23 年 4 月 1 日施行)、文化芸術の振興による地域活性化事業費助成金交付要綱(平成 23 年 4 月 1 日施行)及び、若手芸術家のための文化芸術活動の場提供助成金交付要綱(平成 23 年 4 月 1 日施行)は廃止する。
ただし、平成 23 年度に採択した助成金の取扱については、上記に係らず、なお従前の例による。

附 則

この要綱は、平成 25 年 3 月 1 日から施行する。

附 則

この要綱は、平成 27 年 12 月 15 日から施行する。

附 則

この要綱は、平成 28 年 12 月 15 日から施行する。

別表（第4条関係）

区 分	
<p>助成対象経費及び助成金額の額は次の算式による。</p> <p style="text-align: center;">活動経費 - 活動収入 = 助成対象経費 × 1/3以内 = 助成金の額 (又は1/2以内)</p> <p>※助成金の額に1万円未満の端数が生じた場合は、これを切り捨てるものとする。 ※助成金の額の算定の結果5万円未満となる場合、助成金は交付できません。</p>	
○活動経費は次に掲げるものを対象とする。	
区 分	主 な 内 容
賃金	会場整理、警備、もぎり等の活動の実施に必要な人件費
報償費	講師、出演者等の活動の実施に必要な謝金、謝礼
旅費	講師、出演者等の移動に要する運賃等の旅費
需用費	事務用品等の消耗品、プログラム、ポスター等の印刷製本費等の活動の実施に必要なもので、比較的短期間でその効力を消費するもの
役務費	郵便代等の活動の実施に必要な通信運搬経費等、各種手数料
委託料	舞台装置委託料、会場設営委託料等の活動の実施に必要な委託料
使用料	公演活動等実施の際の会場使用料、マイク等の付帯設備使用料、楽器（ピアノ等）借上げ代等の活動の実施に必要な使用料（前日のリハーサルや搬入、翌日の後片付け等も対象）
その他	上記に掲げるもののほか、代表理事が必要と認めるもの
<p>●活動経費と認められないもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助成金申請者、申請団体等の構成員に対する賃金、報償費、旅費やそれに準じる経費 ・備品購入費や助成を受けようとする団体等の通常の活動に伴う事務用品、電話代、郵送代等の恒常的な経費 ・飲食に要する経費、レセプション経費 ・練習に要する経費（会場使用料等） ・会議、打ち合わせ等に要する経費 ・使途の確定が困難な経費（ガソリン代、タクシー料金、駐車場料金等） ・その他活動に関連が薄いと認められる経費 	
○活動収入は次に掲げるものを対象とする。	
入場料収入	活動に伴う公演、展覧会、イベント等の入場料等の収入
負担金	助成金申請者以外の共催者等からの負担金収入
補助金・助成金	国、市町等からの補助金、助成金収入 (県から補助・助成を受けている場合及び国、市町から1/2以上の補助・助成を受けている場合は本助成対象外)
寄付金・協賛金	寄付金及び協賛金等の収入
物品販売収入	活動に伴う物品販売等の収入
助成金申請団体以外からの参加費	展覧会等で、助成金申請団体以外からの参加料収入
広告料収入	広告料等の収入
その他収入	活動に伴う収入と認められる収入

文化芸術振興活動費助成金交付申請書

平成 年 月 日

公益財団法人置県百年記念
香川県文化芸術振興財団代表理事 殿

申請者 住 所 〒

電 話 番 号

フリカゝナ

氏 名（団体の場合は団体名及びその代表者氏名）

印

申請者生年月日 年 月 日
(若手芸術家活動の助成金申請者のみ記入)

平成 年度文化芸術振興活動費助成金の交付を受けたいので、助成金交付要綱第5条の規定に基づき下記のとおり申請します。

- 1 助成対象活動区分（該当するものを○で囲んでください。）
- (1) 文化芸術活動
 - ①育成支援（団体の結成年月：平成 年 月）
 - ②発展支援
 - ③国際交流支援
 - (2) 若手芸術家活動
 - (3) 地域活性化活動

2 活 動 名

3 助成金交付申請額 円

4 助成金審査委員会ヒアリング出席可能日 2月25日(土) 2月26日(日)
(該当するものすべてを○で囲んでください。) [午後] [午前・午後]
※第2次ヒアリング審査については、日時未定により後日調整するため、記載不要です。

〈添付書類〉

- 1 活動計画書（様式第2号）
- 2 収支予算書（様式第3号）
- 3 その他（申請の内容がわかる資料、過去の活動の資料、団体の規約など）

連絡先 住所：〒
氏名：
Tel： FAX： E-Mail：

※必ず連絡のとれる方のものを記入してください。

活動計画書

1 助成対象活動区分

2 活 動 名

3 活動予定期間 年 月 日 ～ 年 月 日

4 活動実施予定場所

5 活 動 趣 旨

6 活 動 内 容 (活動の内容を具体的に記載してください。また、地域への貢献等、特筆すべき
ものがありましたら、あわせて記載してください。記載しきれない場合は別紙
を添付してください。)

- ・ 入場料等の価格
- ・ 活動参加数(見込み)
- ・ 集客数(見込み)

収支予算書

財源内訳

(単位：円)

区分	項目	金額	摘要
活動収入 (A)	入場料収入		
	負担金		
	補助金・助成金		
	寄付金・協賛金		
	物品販売収入		
	助成金申請団体以外からの参加費		
	広告料収入		
	その他収入		
	当財団からの助成金 (助成申請額)		
	自己財源		(具体的に記載すること)
	計		

支出内訳

(単位：円)

区分	項目	金額	摘要
活動経費 (B)	賃金		
	報償費		
	旅費		
	需用費		
	役務費		
	委託料		
	使用料		
	その他		
	計		

(注) 摘要の欄は、節別に内容が分かるよう記載すること。

助成金交付決定通知書

殿

公益財団法人置県百年記念
香川県文化芸術振興財団代表理事

平成 年 月 日付けで交付申請のあった、平成 年度文化芸術振興活動費助成金に関する活動について、助成金交付要綱第6条第3項の規定に基づき、下記のとおり交付決定をしたので通知します。

記

- 1 助成対象活動区分

- 2 活 動 名

- 3 助成対象活動費及び助成金交付決定額
助 成 対 象 経 費
助成金交付決定額

- 4 助成金交付の条件

変更活動承認申請書

平成 年 月 日

公益財団法人置県百年記念
香川県文化芸術振興財団代表理事 殿

申請者 住 所 〒

電話番号

フリガナ
氏 名（団体の場合は団体名及びその代表者氏名）

印

申請者生年月日 _____ 年 _____ 月 _____ 日
(若手芸術家活動の助成金申請者のみ記入)

平成 年 月 日付け 香芸事第 号で交付決定通知のあった、平成 年度文化芸術振興活動費助成金に関する活動について、助成金交付要綱第8条第1項の規定に基づき、下記のとおり計画を変更したいので承認されたく申請します。

記

- 1 助成対象活動区分
- 2 活 動 名
- 3 助成金交付決定額 円
- 4 活動変更後の助成金交付申請額 円

〈添付書類〉

- 1 変更活動計画書（様式第6号）
- 2 変更収支予算書（様式第7号）

変更活動計画書

○変更の理由

1 助成対象活動区分

2 活 動 名

3 活動予定期間 年 月 日 ～ 年 月 日

4 活動実施予定場所

5 活 動 趣 旨

6 活 動 内 容 (活動の内容を具体的に記載してください、記載しきれない場合は別紙を添付してください。)

- ・入場料等の価格
- ・活動参加数(見込み)
- ・集客数(見込み)

(注) 変更後の内容を記載し、変更前の内容を（ ）書きで記載すること。

変更収支予算書

財源内訳

(単位：円)

区分	項 目	金 額 (変更後)	金 額 (変更前)	摘 要
活動収入 (A)	入場料収入			
	負担金			
	補助金・助成金			
	寄付金・協賛金			
	物品販売収入			
	助成金申請団体以外からの参加費			
	広告料収入			
	その他収入			
当財団からの助成金 (交付決定額)				
自 己 財 源				
計				

支出内訳

(単位：円)

区分	項 目	金 額 (変更後)	金 額 (変更前)	摘 要
活動経費 (B)	賃金			
	報償費			
	旅費			
	需用費			
	役務費			
	委託料			
	使用料			
	その他			
計				

- (注) 1 摘要の欄は、節別に内容が分かるよう記載すること。
2 変更前と変更後が対比できるよう記載すること。

活動中止・交付辞退届出書

平成 年 月 日

公益財団法人置県百年記念
香川県文化芸術振興財団代表理事 殿

申請者 住 所 〒

電話番号

フリガナ
氏 名（団体の場合は団体名及びその代表者氏名）

印

申請者生年月日 年 月 日
（若手芸術家活動の助成金申請者のみ記入）

平成 年 月 日付け 香芸事第 号で交付決定通知のあった、平成 年度文化芸術振興活動費助成金に関する活動について、助成金交付要綱第8条第2項の規定に基づき、中止（辞退）したいので下記のとおり届け出ます。

記

- 1 助成対象活動区分
- 2 活 動 名
- 3 中止（辞退）の理由

活動実績報告書

平成 年 月 日

公益財団法人置県百年記念
香川県文化芸術振興財団代表理事 殿

申請者 住 所 〒

電話番号

フリガナ

氏 名（団体の場合は団体名及びその代表者氏名）

印

平成 年 月 日付け 香芸事第 号で交付決定通知のあった、平成 年度文化芸術振興活動費助成金に関する活動が完了したので、助成金交付要綱第9条の規定に基づき、下記のとおりその実績を報告します。

記

1 助成対象活動区分

2 活 動 名

〈添付書類〉

- 1 活動実績報告書(別紙) (様式第9-2号)
- 2 収 支 決 算 書 (様式第10-1号、10-2号)
- 3 そ の 他 (活動実績の内容を示す書類・写真等)

活動実績報告書（別紙）

- 1 助成対象活動区分
- 2 活 動 名
- 3 活動実施期間 年 月 日 ～ 年 月 日
- 4 活動実施場所
- 5 活 動 内 容 (活動の内容を具体的に記載してください、記載しきれない場合は別紙を添付してください。)

- ・ 入場料等の価格
- ・ 活動参加数
- ・ 集客数

収支決算書

財源内訳

(単位:円)

区分	項目	予算額	決算額	番号	摘要
活動収入 (A)	入場料収入				
	負担金				
	補助金・助成金				
	寄付金・協賛金				
	物品販売収入				
	助成金申請団体以外からの参加費				
	広告料収入				
	その他収入				
当財団からの助成金 (交付決定額)					
自己財源					
計					

支出内訳

(単位:円)

区分	項目	予算額	決算額	番号	摘要
活動経費 (B)	賃金				
	報償費				
	旅費				
	需用費				
	役務費				
	委託料				
	使用料				
	その他				
計					

- (注) 1 摘要の欄は、節別に内容が分かるよう記載すること。
2 支払の事実を証する書類を添付すること。

助 成 金 交 付 額 確 定 通 知 書

(助 成 金 交 付 者) 殿

公益財団法人置県百年記念
香川県文化芸術振興財団代表理事

平成 年 月 日付けで実績報告のあった平成 年度文化芸術振興活動費助成金に関する活動について、助成金交付要綱第 10 条の規定に基づき、交付すべき助成金の額を下記のとおり確定します。

なお、同要綱第 11 条の規定に基づき、助成金請求書(様式第 12 号)を本通知受領後 10 日以内に提出してください。

記

1 助成対象活動区分

2 活 動 名

3 助 成 金 確 定 額 円

助成金請求書

平成 年 月 日

公益財団法人置県百年記念
香川県文化芸術振興財団代表理事 殿

申請者 住 所 〒

電話番号

フリガナ

氏 名 (団体の場合は団体名及びその代表者氏名)

印

平成 年 月 日付け 香芸事第 号で交付決定通知のあった、平成 年度文化芸術振興活動費助成金について、助成金交付要綱第11条の規定に基づき、下記のとおり請求します。

記

- | | |
|-----------------|---|
| 1 助成金交付確定額 | 円 |
| 2 概算払により交付を受けた額 | 円 |
| 3 今回交付を請求する額 | 円 |
| 4 助成金振込口座 | |

(フリガナ) 口座名義						
金融機関名	支店名					
口座番号	当座 <input type="checkbox"/>	普通 <input type="checkbox"/>				

※預金口座のある金融機関の店舗名及び口座番号を記載すること。

※申請者と口座名義(人)が異なる場合は原則振込みができませんので、事前にご連絡ください。

助成金概算払請求書

平成 年 月 日

公益財団法人置県百年記念
香川県文化芸術振興財団代表理事 殿

申請者 住 所 〒

電 話 番 号

フリガナ

氏 名（団体の場合は団体名及びその代表者氏名）

印

平成 年 月 日付け 香芸事第 号で交付決定通知のあった、平成 年度文化芸術振興活動費助成金について、助成金交付要綱第13条の規定に基づき、下記のとおり請求します。

記

- 1 助成金交付確定額 円
- 2 概算払による交付請求額 円
- 3 概算払が必要な理由

4 助成金振込口座

(フリガナ) 口座名義						
金融機関名	支店名					
口座番号	当座 <input type="checkbox"/>	普通 <input type="checkbox"/>				

※預金口座のある金融機関の店舗名及び口座番号を記載すること。

※申請者と口座名義（人）が異なる場合は原則振込みができませんので、事前にご連絡ください。

収支予算書

財源内訳

(単位:円)

区分	項目	金額	摘要
活動収入(A)	入場料収入	100,000	1,000円×100枚
	補助金・助成金	100,000	〇〇市補助金
	広告料収入	50,000	10,000円×5社
	寄付金・協賛金	100,000	かパ° 30,000円、企業協賛70,000円
当財団からの助成金 (助成申請額)		110,000	[活動経費(B)－活動収入(A)]×1/3 【1万円未満は切捨て】
自己財源		230,000	
計		690,000	

支出内訳

(単位:円)

区分	項目	金額	摘要
活動経費(B)	旅費	60,000	10,000円×5人、2,000円×5人
	報償費	100,000	ゲスト出演者、講師等謝金20,000円×5名
	需要費	100,000	チラシ〇〇部・ポスター〇〇枚 印刷経費
	役務費	30,000	チラシ・ポスター等郵送料
	使用料	200,000	〇〇ホール会場使用料、附帯設備使用料
	委託料	200,000	照明・音響委託費(〇〇スタジオ株)
計		690,000	

(注) 摘要の欄は、節別に内容が分かるよう記載すること。

- ※1 平成29年度(平成29年4月1日～平成30年3月31日)中の収入、経費(支払済のもの)のみが対象です。
- ※2 この収支予算書支出内訳欄には、**活動経費と認められるもののみ記載**してください。
従って、交付要綱の別表「活動経費と認められないもの」に記載している経費は算入しないでください。
- ※3 計算式等

$$\text{活動経費(B)} - \text{活動収入(A)} = \text{助成対象経費} \times 1/3 \text{以内} \div \text{助成金申請額上限額}$$

$$(690,000 \text{円} - 350,000 \text{円} = 340,000) \times 1/3 \text{以内} \div \boxed{110,000 \text{円}}$$

◇若手芸術家活動、地域活性化活動及び、香川県文化会館利用を利用した活動の場合は、
助成対象経費の1/2以内

◇助成金額は、5万円以上100万円以内の範囲内(算定の結果助成金額が5万円未満となるものには
交付できませんのでご注意ください。)

◇上記の場合、助成金額は110,000円が上限。ただし、必ずしも上限額が採択されるとは限りません。

◇助成金額は万円単位(1万円未満の端数は切り捨て)で申請してください。